

南部みどり幼稚園

平成30年度学校自己評価結果報告書

1. 本園の教育目標

本園の身近にある豊かな自然環境を通して、たくさんの「ふれあい」「出会い」を大切にし、物を大切にすること・やさしくすること・夢中になること・感動することそして愛することのできる子どもの育成を目指し、ひとりひとりを大切に自主性を尊重し、やる気を育てる幼児教育を目標とする。

1. 健康なからだと健康なところを支える体力を持った子ども
2. 自分の力で最後まで考えたり創造したりする子ども
3. 友達と仲よく元気にあそべる子ども
4. 心豊かなやさしさと愛のある子ども
5. ことばを愛し、豊かな表現活動のできる子ども

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

本年度も教育目標を継続して達成すべく、その充実に努める。特に、感謝の気持ちを持つよう、日々の保育の中でお礼を言うこと、伝えることの大切さや、支えてくれている人がいることに気づけるような言葉掛けを心掛ける。

3. 評価項目の達成及び改善点

評価分類	評価結果	改善点
保育の計画性	A～B	・教育方針は充分理解しているが、実践する上で職員間の話し合い、コミュニケーションを更に深めていく必要がある。職員一人一人の個性を尊重 しつとお互いに気づいた点を遠慮なく言い合い、前向きに捉え、改善していく姿勢がより良い保育につながっていくと思う。 ・週一度の会議で何か改善した方が

		<p>良いのではないかと何か問題があれば意見を出し合い全クラスでその改善をし、保育に生かしていると思う。行事も季節に合わせて、それぞれであり、季節を感じる事が出来ると思う。環境構成は今年度は新入児が多く泣いている子が多かったから、その子たちをひきつけられるような部屋の飾りなどをしていきたくかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育理念・教育方針を深く理解し、指導計画に生かしていくようにする。 <p>又、翌月のカリキュラムの話し合いが十分に出来なかったため、日をしっかりと決めて話し合いをすることで、職員間でより深く共通理解をもって保育にあたっていけるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事などが近づくと、行事のためにやること、準備などでいっぱいになってしまい、その他の保育に余裕がなくなってしまうので行事への早めの取り組みや保育の仕方を見直したい。
<p>保育の在り方・幼児への対応</p>	<p>A～B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個から集団へつなげなければいけない中で、集団のための個になってしまう時があるので、個の成長を大切にしたい。 ・子どもたちとの信頼関係を築いていけるよう努めた。より1人ひとりの成長の違いや性格等を深く理解し、個々にあった関わり、言葉掛けや援助を心掛け、幼児が伸び伸びと園生活を楽しめるようにしていきたい。 ・一人一人のありのままの姿を受け入れ、関わっていくことは出来ていたと思うが、その子に対して、見通しを

		<p>持って関わるが出来なかった。この子がこうしたら、こんな行動をとってくるかな？と色々予想していけなかった。常に先を見て、言葉掛け、行動を心掛けていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異年齢との関わりを通して、年長児として成長できるような働きかけをしていく。 ・園児数が少ないため、1人1人と触れ合う時間が充分とれることもあり1人1人の個性をつかみ的確な対応ができていると思う。他のクラスとの関わりも時間をとって行っているが縦割り保育の時間を週に何日か設けて子どもたちの体験内容を豊かにし、思いやりや協調性プラス α を期待したい。
<p>教師としての資質の能力・良識・適正</p>	<p>A～B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者である前に人間として常識をしっかりと持つことが大切だと思う。思いやりと広い心を持って子どもにも保護者にも接することを心掛けたい。子どもたちの成長を共通理解しながら見守れる様、保護者との信頼関係を築いていけるよう更に努力したい。 ・プライバシーな情報の秘密は守れた。1年目ということで、保護者に対して、子どもたちの園での状況、様子は分かりやすく伝えられなかったと思う。その子が1日どのような様子だったか、面白いエピソードなど自分の中で伝えることを決めてから伝えるようにする。先輩保育者の言葉をよく聞き吸収していきたい。 ・今後もプライバシーの保護には日常の会話等も含め、気をつけてい

		<p>く。</p> <p>子どもの園での様子等は話の中で十分に伝えきれないこともあった。簡潔に相手に分かりやすく伝えることが出来るよう、伝えたい内容を整理しておくようにする。製作の中で様々な画材や手法が体験できるよう行い方を工夫していく。</p> <p>・まだまだ経験だけでは補いきれないところもあるし、時代の変化もあるので、自分から情報や知識へのアンテナを高くし、柔軟に対応出来るようにしたい。</p>
<p>保護者への対応</p>	<p>A～B</p>	<p>・時代の変化と共に保護者との保育観のズレが生じているように思うので子どもたちの様子を伝え合いながら共通理解を増やしていきたい。</p> <p>・今年度、クラス便りを書く機会はなかったが、クラス便りや懇談で保護者に伝える内容を確認し、共通理解をもち、保育にあたるよう心掛けた。不明な点はそのままにしておかず、その都度確認、理解し、実践につなげていけるようにしたい。</p> <p>・保護者とは家での様子、園での様子をノートでやり取りしたり、直接話したりして、共通の理解が出来ていたと思う。園での様子やお便りなどで何のあそびにはまっているのか、どういう状況なのか伝えることが出来たと思う。</p> <p>・正確に、また細かく子どもたちの様子を伝える様、また良いアドバイスが出来るよう更に努力したい。ホームページにも子どもたちの園での様子が動画などで伝えられると保護者</p>

		<p>の理解、安心を得ることが出来るのでは？</p>
<p>地域や自然や社会とのかかわり</p>	<p>A～B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・卒園児が園を訪れてくれたり、成長を見守り続けることが出来ている面は良いと思う。更に、深く、広く関わりをもてる様な工夫を実現化していきたい。夕涼み会、バザーの会に地域の人や卒園児も参加してくれている。これを更に広げていきたい。 ・四季を感じられるように自然に触れられる機会を増やしたい。 ・自然の中にあるということを生かし、色々な虫や生き物に触れ合う機会をたくさん作れたと思う。上の学年は山の中にあるアスレチックで遊んだり自然と触れ合うことができていたと思う。 ・子育てサロン「どんぐりクラブ」を今後も進めていく。卒園児との関わりでは面識がないことから積極的に関わりを持つことが出来なかったが、言葉掛け等、行う中で、園や職員により親しみをもってもらえるようにする。戸外あそびや、散歩を通して豊かな自然の恵みや変化のい気付けのような働きかけを行っていく。 ・兄弟がいたり、園の近所など関わりがあると、その後の様子などが分かるが、全く関わりがなくなってしまうのも寂しいので何か出来ないかとも思う。
<p>研修と研究</p>	<p>A～B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外部との研修会のチャンスは少ないが、その内容を自園に戻ってから少しでも生かせるようにしていく。 ・園の中での子どもたちの情報交換などはよく出来ていると思うので、園

		<p>の外からの情報を得る機会をもっと作る必要がある。</p> <p>・教職員間の話し合いは常に行っていて理解し合っていると思うが、堅守に参加する機械がやや少ないように思う。保育にプラスとなる研修に積極的に参加できると良いと思う。</p>
--	--	---

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

総合的な評価は「A～B」であることを確認した。

教職員一人一人が、自己点検・自己評価を自覚し、目標の達成に努力したが、さらに本園の教育目標を確固たるものにするため、各々が日常的に自己評価を行い、資質向上に努めることを共通の理解とした。

5. 今後の取り組むべき課題

今後取り組むべき課題として、31年度は次を重点課題とする。

「保育の計画性」

日々の保育の計画は、子どもの様子をしっかりと捉え、年間計画・月案と照らし合わせながら立てていく必要があり、他学年との連携も大切にしながら、計画をしていきたい。

「保育の在り方、幼児への対応」

子どもたち一人ひとりの育ちを考え、どのような援助・言葉掛けが良いか、他の職員とも相談しながら対応するようにし、危険予測や、子どもが起こすかもしれない次の行動を、もう少し考えられるようにしたい。

6. 財務状況

平成29年度に子ども子育て支援新制度に移行し2年目になるが、財務状況については大分改善されてきている。監査法人の監査においても適正に運営されていると認められている。